

福留教育長から表彰を受ける久木留さん



太陽ちくりん太鼓の演奏

人権について考えよう

『幸せに生きるために』

第10回宮之城町人権啓発推進大会 第20回宮之城町人権同和教育講演会

8月25日、「第10回宮之城町人権啓発推進大会」「第20回宮之城町人権同和教育講演会」が町文化センターで行われました。

これは、人権問題を全町民的課題としてとらえ、町民一人ひとりが全ての差別を無くすよう町民みんなが力を合わせて、住み良い宮之城町を築いていくことを趣旨に開催されています。

大会では、太陽保育所「太陽ちくりん太鼓」の演奏、宮之城中学校合唱クラブの合唱の後、盈進小学校5年生の久木留大喜さん、佐志小学校5年生の小林美穂さん、宮之城中学校3年生の北原あゆみさん（学校名・学年は応募時）に人権に関する標語の表彰があり、山崎中学校2年生の濱田美希さんと宮之城中学校3年生の岩附若菜さんの人権作文発表が行われました。

また、人権同和教育講演会では、レッゴ正児さんの「人がいて ぬくもりがあつて 人がいて」と題し講演がありました。



レッゴ正児さんの講演



人権作文を発表する濱田さん

「人権」って何？

人権とはなんでしょうか？ それは、「人間が人間らしく幸せに生きていくための権利」とであると言われます。

人権は、私たち一人ひとりの生命や自由・平等を保障し、日常生活を支えている大切な権利なのです。



人権作文を発表する岩附さん